

## 第4回草津市減災シンポジウム の開催について（御案内）



平成23年3月11日に発生しました東日本大震災については、複数の断層が同時に破壊され、想定以上の大津波や原発事故が発生し、多くの方が亡くなられ、今もなお、多数の方が避難生活を余儀なくされておられます。

この大震災で死者・行方不明者が千人を越えた釜石市で、全小中学生2,926人のうち、2,921人が津波から逃れ、生存率99.8%「釜石の奇跡」と呼ばれているこの生存率は、奇跡が起こしたものでなく、それまでの熱心な防災教育の賜物であり、「想定に縛られず、自分の命は自分で守る姿勢が生きた」と言われています。

本市においても、昨年より保、幼、小、中などの児童、生徒への防災教育として、各施設のニーズに応じた防災教育の支援を行っております。

つきましては、子どもたちの防災教育について考える「第4回減災シンポジウム」を町内会、学(地)区まちづくり協議会、民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会、保育所、幼稚園、小中学校、防災関連機関の皆様をはじめ、広く市民の皆様を対象に開催しますので、公私御多忙の折とは存じますが、ぜひ御参加賜りますよう御案内申し上げます。

### 記

開催日時：平成25年6月15日（土）午前9時30分～12時

会場：草津市役所 2階特大会議室（定員600人、事前申込み不要）

- 内容：① 講演「矢守先生がよくわかる！最新ぼうさい教育事情」  
京都大学防災研究所 教授 矢守克也
- ② 事例発表 渋川学区
- ③ 事例発表 老上学区
- ④ 事例発表 玉川学区
- ⑤ 説明 「9 years plan」 湖南広域消防局

参集範囲：町内会長（自主防災組織長含む）、学(地)区まちづくり協議会、市民生委員児童委員協議会、市社会福祉協議会、消防署・消防団、防災指導員・市民防災員、保育所、幼稚園、小中学校、PTA、災害ボランティア関係団体、市議会議員、立命館大防災フロンティア研究センター、一般市民 など

## 講師等紹介

講演「矢守先生のよくわかる！最新ぼうさい教育事情」

講師 京都大学防災研究所巨大災害研究センター

教授 矢守克也 氏



1988年 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得。  
各種団体、大学等の研究員、講師等を経て、2009年から現職  
その他の現職として

人と防災未来センター 上級研究員、震災資料研究主幹

文部科学省学校施設の在り方に関する調査研究協力者会「災害に強い学校施設づくり検討部会」委員

大阪府防災会議 専門委員

愛知県東海・東南海・南海地震等被害予測調査「教育・啓発ワーキンググループ」委員

高知県津波避難を考える検討会 委員長

京都府危機管理アドバイザー

日本災害復興学会 理事

その他、多数の大学・機関等の講師・研究員・理事等

事例発表1 渋川学区

事例発表2 老上学区

事例発表3 玉川学区

説明「9 years plan」 湖南広域消防局

担当 草津市危機管理課 辻井、平井  
電話 077-561-2325  
FAX 077-561-6852  
メール kikikanri@city.kusatsu.lg.jp

## 第4回草津市減災シンポジウム実施要領

### 1 趣 旨

平成23年3月11日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災をはじめ、日本各地で災害が頻発している中、本市においても、琵琶湖西岸断層帯地震や東南海・南海地震、予測不能のゲリラ豪雨の発生など大規模災害がいつ起こってもおかしくない状況にあります。

減災をすすめるためには、各家庭での取組である自助、地域での助け合いである共助、市や消防が行う公助が一体となって取組を進めることが大切であり、市としても、一昨年度から昨年度にかけて、地域防災計画全般の改訂および原子力災害対策編の新編を行うとともに、市内全小学校に防災備蓄倉庫を設置し、仮設トイレ、浄水装置等に加え、担架・リヤカー等の各種防災資機材の増強を進めるとともに市内一斉緊急放送システムの増設等、様々な施策を展開しながら、市民の生命と財産を守る取組を進めています。

今年で4年目となる今回のシンポジウムでは、防災教育にスポットをあて、「矢守先生がよくわかる！最新ぼうさい教育事情」と題した講演をしていただくとともに、草津市内で実施された子どもを主対象とした防災教育の事例等について発表をいただき、参加者それぞれが、減災に向けて取り組む契機として減災シンポジウムを開催します。

### 2 主 催

草津市、草津市教育委員会

### 3 開催日時・会場

開催日時：平成25年6月15日（土）午前9時30分～12時00分

会 場：草津市役所 2階特大会議室（定員600人）

日 程： 9時30分 開式 市長あいさつ

9時35分 講演「矢守先生がよくわかる！最新ぼうさい教育事情」  
京都大学防災研究所巨大災害研究センター 教授 矢守克也

10時35分 休憩

10時45分 事例発表 1  
渋川学区代表 1

11時00分 事例発表 2  
老上学区代表 2

11時15分 事例発表 3  
玉川学区代表 3

11時30分 「9 years plan」説明  
湖南消防局

11時45分 3質疑応答、講評  
教授 矢守克也

11時55分 終了挨拶  
草津市教育長 三木逸郎

### 4 参集範囲

町内会長（自主防災組織長含む）、学（地）区まちづくり協議会、市民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、消防署・消防団、防災指導員・市民防災員、保育所、幼稚園、小学校、中学校、PTA、災害ボランティア関係団体、市議会議員、立命館大防災フロンティア研究センター、一般市民、市職員など

## 5 前日準備

6月14日(金)午後1時より会場準備

準備内容：椅子搬入設置、音響映像準備・調整、各種掲示物設置(標題、案内等)

### 参考 講演内容の詳細

**講演「矢守先生がよくわかる！最新ぼうさい教育事情」京都大学教授 矢守克也 60分**

子どもたちに対する防災教育の重要性・必要性やその効果について、代表的な実践事例を紹介しながらお話しします。

**実例発表 1 15分**

渋川学区で実施した子どもたちの防災教育の実例について発表します。

**実例発表 2 15分**

老上学区で実施した子どもたちの防災教育の実例について発表します。

**実例発表 3 15分**

玉川学区で実施した子どもたちの防災教育の実例について発表します。

**「9 years plan」説明 湖南広域消防局 15分**

子どもたちの防災教育の実施要領の概要について、説明いたします。